

伊万里

Imari

広報 **4** NO. 566
2001
(平成13年)



ガンバレ！あと少し。焼き肉が待ってるよ (スタミナ焼き肉オリエンテーリング、3月18日)

色絵太鼓乗人形

伊万里 (柿右衛門様式) 1670~1685年代
高さ14.2cm



	平成13年度市長所信表明 ……2
今 月 の 主 な 内 容	特集 ひびけ輝け伊万里の未来 ……4
	パブリックインフォメーション 14
	教育と文化 ……17
	みんなの広場 ……18
	ほがらかページ ……20
	ほくの学校わたしの学校 21
	スポーツ ……22
	くらしのチャンネル ……24
	お便り ……26

真のゆとりと豊かさを 実感できる 自立した地域社会

新しい世紀の幕開けという、歴史的な節目のときを迎えました。

21世紀は、環境問題の地球規模での広がり、情報技術の目覚ましい進歩、少子化の影響による人口減少などが予測され『環境の世紀』や『情報の世紀』とも言われておりますが、わたしは、真のゆとりと豊かさを実感できる自立した地域社会を、市民との協働により創造していく『市民の世紀』であると考えております。

新しい世紀の礎を築いていかなければならない今、わたしは、この地に培われた歴史・文化、世界に通じる『伊万里』を築いた先人たちの偉業に学び、新たな発想をもって、次代を担っていく子どもたちに誇れる郷土（ふるさと）伊万里の創造に向け、全力をあげて取り組んでまいり所存であります。

現在の社会は、金融システムの再生や終身雇用制度の崩壊、社会保障制度の再構築などに見られるように、これまでわが国の発展を支えてきた社会経済システムが、時代の激しい変化により、従来のような役割を果たせなくなってきたり、構造からの抜本的改革に迫られています。

また、わが国の経済は、長引く景

※注 平成13年第1回定例会で 川本市長が 所信を表明



21世紀は 市民との協働に より 自立した

気低迷のなか緩やかな改善をつづけているものの、先行きの不透明感をぬぐえず、予断を許さない状況にあります。さらに、国・地方の財政は、長期債務が13年度末に666兆円に達する見込みであるなど、一層厳しさを増しています。

こうしたなか、国においては本年1月から、省庁再編による新たな行政システムがスタートするとともに、地方においては、地方分権が積極的に推進され、自己決定、自己責任による自立した地域社会の形成が強く求められています。

**自己の夢を
実現する舞台にふさわしい
伊万里市づくり**

このような情勢において、価値観の多様化に加え、環境対策や少子・高齢化へのさらなる対応など、複雑化し増大する行政需要や、地方分権による自治体間の本格的な政策競争に対処していくためには、時代の要請や市民のニーズを政策に反映させるとともに、人材や財源などの限られた資源を、最大限に有効かつ効率的に活用した自治体経営を行っていかねばなりません。

新たな世紀の出発点に立ち、市民福祉の向上と、地域振興という行政に課せられた責務を、原点にかえって強く

※注 平成13年第1回定例会の内容については、4月15日発行の市役所だよりで詳しくお知らせします

平成13年度 市長所信表明

まず、平成9年に韓国・釜山港との間にコンテナ定期航路を開設いたしました伊万里港では、順調に取扱量も伸びており、平成11年の外貿コンテナ取扱本数において、後発港でありながら3年目にして、九州では博多、北九州、※注細島※注について4番目にランクされるまでに成長いたしました。

再認識し、さらなる行政改革の推進により、職員の意識改革やサービスの質の向上を図り、市民本位の成果を重視した、簡素で効率的な行財政運営に努めてまいります。

わたしは、押し寄せる変革の波に敢然と立ち向かい、市民と行政の協働により、施策を積極的に展開し、すべての市民が尊重され、一人ひとりが自立し自己の夢を実現する舞台にふさわしい地域社会、輝ける21世紀の伊万里市づくりに取り組んでまいります。

平成13年度 市政の主要施策は？

はじめに、本市最大の地域資源であります伊万里湾の開発につきましては、東アジアと至近距離にある地理的特性を生かした国際物流港としての整備や、基幹となる道路網の整備、工業用水の確保など、地域経済のさらなる浮揚に向けて、総合的な整備を進めてまいります。

地域社会を 創造していく

市民の世紀

今後、地方港間の競争が一層激しくなると予想されるなか、行政と民間が一体となった国内外へのポートセーブルスを積極的に展開し、航路の拡充や、さらなるコンテナの集荷に努めてまいります。

道路網の整備では、伊万里湾の両岸にある工業団地と、港湾施設の一体的な活用を図るため、伊万里湾大橋の13年度末完成に向けて事業促進に努めるとともに、福岡都市圏と結ぶ西九州自動車道や、長崎自動車道へのアクセス道路として、昨年開通いたしました松浦バイパスと市街地を結ぶ大坪バイパス（仮称）の整備を促進し、周辺都市圏との活発な人、物、情報の交流に努めてまいります。

また、新規企業の立地などにより増大する水需要に対応するため、第3工業用水道の水源として建設されている県営都川内ダムの、平成14年度給水開始に向けて、関連施設の整備を進めてまいります。

企業の誘致につきましては、全国

的に新規立地が伸び悩むなかで、昨年は佐賀県に立地した13社のうち、5社が伊万里市へ立地し、これまで取り組んできた誘致活動が実を結んだものと考えております。引き続き、道路網や港湾機能など企業の立地環境の整備を進め、若者の定着を図る雇用の場の確保に努めてまいります。

伊万里駅を中心とした市街地の整備につきましては、本市の玄関口としてふさわしい魅力ある都市拠点施設として、白壁土蔵の趣を取り入れた和風造りの近代的な東西二つの駅ビル建設に着手し、本市が保有する鍋島などの展示室や、観光情報の発信機能を備えた施設として整備することによりまいります。

また、鉄道で分断されている中心市街地を一体化させるため、伊万里駅前線の整備や区画整理事業を引き続き推進し、都市機能の向上を図ります。

情報化の推進につきましては、インターネットを主軸とする情報技術

（IT）の急激な発達によって、市民生活の広がりや質の向上など、多様な可能性が生まれており、国においては行政手続きの電子化などによる電子政府の構築が進められています。

本市におきましては、これまで進めてまいりました情報化の分析評価を行い、今後の情報化の方向性を示す『伊万里市情報化基本計画（仮称）』を策定し、さらなる情報化の推進に努めてまいります。

また、進展する情報化に対応し、生活の利便性を飛躍的に向上させるインターネットを自由に活用できる知識、技能を習得するため、市民を対象にしたIT基礎技能講習会を開催します。

少子化への対応につきましては、安心して子どもを生み育てることができ、子ども自身が健やかに育つ地域社会を築いていくため『伊万里市エンゼルプラン（仮称）』を策定し、子育て支援施策の総合的な展開を図ってまいります。さらに、保護者の就労形態の変化などにより、多様化する保育ニーズに対応するため、新たに一時保育や休日保育に取り組んでまいります。

男女協働参画社会の形成につきましては、男女が自らの意志によって社会のあらゆる分野において等しく参画できる都市をめざして、県内では初めて本年1月に『男女共同参画宣言都市』を宣言したところであり、その実現に向けフォーラム等を開催し、いっそうの推進を図ってまいります。

※注 宮崎県日向市にある港の名称

みんなが見つめている

ひびけ 輝け 伊万里の未来

21世紀の伊万里。どんな姿になっているのでしょうか。あなたは想像したことがありますか。

伊万里市は、21世紀の幕開けを祝うため、1月1日の夜、2001発の花火を打ち上げました。冬の夜空を彩る大輪の花、花、花。皆さんはこの花火を見ながらどういう感想を持ちましたか。新しく迎えた21世紀。自分はどうありたい、また、伊万里はこうなっていきたい、いろいろ考えられたことと思います。

そこで今回は、新世紀記念事業として市が募集した『ひびけ、輝け 伊万里の未来』の応募作品の中から、各部門の市長賞を受賞された皆さんの作品を紹介しながら、伊万里の未来についていっしょに考えてみたいと思います。





入賞者全員が出席して行われた表彰式

元日の花火の感動を 文章や映像で表現して 3332点の応募が ありました

市は、2001年1月1日に打ち上げられた花火の感動をもとに、未来へのゆめを広げ、それを文章、映像で表現した作品を募集しました。

1月末までの募集期間内に、総数3332点の応募があり、市長賞7点、議長賞7点、教育長賞7点、優秀賞10点、入選18点の合計49点が選ばれました。

2月26日、市役所で表彰式がありました。受賞者一人ひとりに賞状と記念品が渡されたあと、あいさつに立った川本市長は「多くの応募があったことは、市民と行政

の協働のあかしです。作品に込められた夢を大事にして、皆さんの知恵を借りながら、輝かしい伊万里をつくっていききたい」と話していました。

その後、作文の部で市長賞に輝いた人たちの作品が発表されました。どの作品も、花火を見た感動をもとに、どう思ったかが素直に表現されていて、会場からは盛んな拍手が送られていました。

なお、入選した人たちは次のとおりです。(敬称略)

《市長賞》

『文章表現の部』

▽小学生低学年の部(作文) 宗美咲(大坪小3年)▽小学生高学年の部(作文) 山本悠貴(大坪小6年)▽中学校(作文) 島本友里(伊万里中2年)▽一般(作文) 金岡恭子(立花町)

『映像表現の部』

▽小学生低学年の部(絵) 中島啓也(大坪小1年)▽小学生高学年の部(絵) 松尾理乃(牧島小5年)▽中学校(絵) 小田亜杏紗(啓成中2年)

《議長賞》

『文章表現の部』

▽小学生低学年の部(作文) 立石旭(大坪小2年)▽小学生高学年の部(作文) 長野洋子(黒川小5

年)▽中学校(作文) 小松由樹(伊万里中1年)

『映像表現の部』

▽小学生低学年の部(絵) 山田聖奈(大川内小3年)▽小学生高学年の部(絵) 井上麻衣(大坪小5年)▽中学校(絵) 倉持圭一(国見中1年)▽一般(写真) 原口辰巳(松浦町)

《教育長賞》

『文章表現の部』

▽小学生低学年の部(作文) 田口昂平(南波多小1年)▽小学生高学年の部(作文) 橋口悠美(波多津小5年)▽中学校(作文) 下平彩華(伊万里中1年)▽一般(ひとことメッセージ) 石本洋子(立花町)

『映像表現の部』

▽小学生低学年の部(絵) 古賀柚季(大坪小3年)▽小学生高学年の部(絵) 高森信吾(波多津小5年)▽中学校(絵) 沖田希望(国見中2年)

《優秀賞》

『文章表現の部』

▽小学生低学年の部(ひとことメッセージ) 福田愛香(山代東小2年)、(作文) 山口夏菜(大坪小3年)▽小学生高学年の部(作文) 溝上久美香(大坪小4年)▽中学校(ひとことメッセージ) 川端誠(伊万里中2年)、(作文) 山田

速(伊万里中2年)

『映像表現の部』

▽小学生低学年の部(絵) 釘宮大輔(東山代小2年)▽小学生高学年の部(絵) 酒谷幸人(波多津小6年)▽中学校(絵) 下野原菜摘(青嶺中2年)、(写真) 岩本里美(国見中1年)▽一般(写真) 梅崎 淳(伊万里町)

《入選》

『文章表現の部』

▽小学生低学年の部(作文) 立石若菜(大坪小3年)、伊東優哉(伊万里小2年)▽小学生高学年の部(作文) 鍋島さや夏(大坪小6年)、門司奈大(伊万里小5年)▽中学校(ひとことメッセージ) 梶山あゆ美(伊万里中2年)、馬場理子(伊万里中3年)(作文) 片岡舞子(伊万里中1年)、山口奈緒美(伊万里中1年)▽一般(ひとことメッセージ) 百武和男(松浦町)

『映像表現の部』

▽小学生低学年の部(絵) 西原すずか(東山代小2年)、前田彩花(南波多小1年)▽小学生高学年の部(絵) 松尾理紗(松浦小6年)、川添絢子(波多津小5年)▽中学校(絵) 久保川里渚(青嶺中1年)、川原千佳(啓成中2年)(写真) 佐藤晃郎(国見中3年)、松尾悠(東陵中2年)▽一般(写真) 泉 彌敏(新天町)

小学生低学年

そう みさき
宗 美咲さん

大坪小学校3年
(栄 町)



親せきと
楽しんだ
花火大会

も

うちよつとで花火が始まるよ。

ここは、伊万里湾大橋のそばにあるケアハウス^{※注}の4階。ひいおじいちゃんといひいおばあちゃんの部屋です。わたしの親せきが、たくさん集まって新年のお祝いをしています。大人たちは、おせちを食べたり、お酒を飲んだりして花火

動物が好きなので、将来は獣医になりたいと話す美咲さん。ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんといっしょに、ケアハウスから見た正月の花火が印象的だったそうです。

「今年初めて、みんなでケアハウスに集まってお正月をしました。ケーキを食べたり、花火を見たり楽しかったな。いつまでも家族そろってお正月を迎えられたらいいな」と話していました。

が始まるのを待っています。やつと伊万里湾大橋がつながったということ、21世紀のお祝いで、2001発の花火が打ち上げられると、おうちの人の耳から聞きま

した。ヒュードーン。
ヒュルルードーン
暗くなつて、いよいよ花火が始

まりました。花火がパツと広がり、1〜2秒してからドーンと大きな音が伝わってきました。そのドーンといひい音は、おなかにズズンとひびきわたりました。黄色から赤や青にかわつたり、きらきらとひかつたり、なんときれいな花火でしょう。わたしはうつとり空を見上げました。こんなにたくさんのお花火をみるのは初めてでした。花火がパツと光るたびに、伊万里湾大橋が一しゅんだけくつきりと見えました。伊万里湾大橋は何年もまえから計画されていたそうです。わたしの学校では、体育大会の日に毎年3、4年生が『伊万里讃歌』を踊ります。その中で3、4年生の男子が伊万里湾大橋を作りました。その大橋もかっこよかつたけれど、近くで見ると本物の大橋はもつとはく力がありました。

わたしは、12月の終わりに家族で伊万里湾大橋の見えるところに行き、年賀状にのせる写真を撮りました。その時は、伊万里湾大橋が小さくしか見えませんでした。でも大きく見えました。夜だったので、チカチカと橋の上が光っていました。

ベランダの下を見ると、車のライトがたくさん光っていて、まる

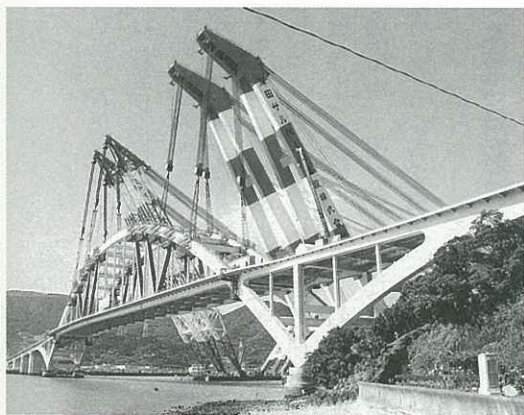
で東京みたいでした。

後ろを見ると、ひいおじいちゃんが花火を見ていました。ひいおじいちゃんは、歩くことができな

いので、車いすにすわつて花火を見ています。ひいおばあちゃんは床にすわつて見えます。
夜になり、だんだん寒くなつてきました。わたしはひいおじいちゃんたちが、かぜをひかないかちよつと心配になつてまどをしめました。

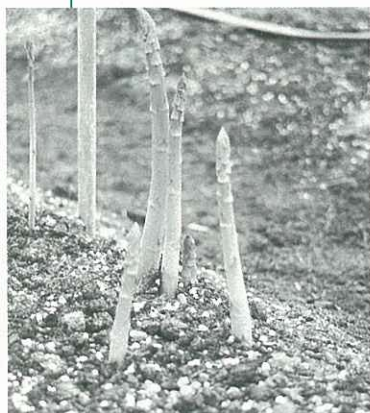
ひいおじいちゃんは91歳、ひいおばあちゃんは89歳です。来年もこんななにぎやかなお正月をすごしたいです。そして、伊万里湾大橋が完成したら、わたしがひいおじいちゃんの車いすをおして橋をわたりたいです。

それまで二人とも元気でいてね。



ひびけ 輝け
伊万里の未来!

※注 軽費老人ホームのひとつ。高齢者の生活に配慮した構造や設備を持つ集合住宅で、入浴、食事などのサービスが提供されるもの。市内には唯一山代町に設置されている。



僕

の夢は農業を継ぐこと
す。なぜこの道を選んだか
というと、僕は6歳のころ父の
家のある伊万里市に引っ越して
きました。そこは、自然に恵ま
れたところでもすばらしいと
ころでした。そこでは、祖父
が農業を営んでいて、新鮮な
野菜を食べたり、竹の子ほり
をするなど、都会では経験
できないことばかりでした。

農業は、幼い僕からみてと
ても厳しい世界だということ
がわかりました。その中で、
祖父や父たちが自然と向き
合い、からだをはって農業に
取り組んでいたのです。そん
なたくましい姿をみて、僕は
農業をしてみたくなったの
です。引っ越して来てから4
年がたち、僕が10歳のころ
祖父が病気でなくなってい
ました。それから父が本格的
に取り組むようになり、いく
度も失敗を重ねながらも、
ノートに気づいたことや問
題点をまとめ、次の年に向
けて勉強をしました。その父
の姿がとてものもしく見え
ました。

このように、受け継がれて
いる田畑を、維持すること
もたいせつだと思いま
す。先代はこの土地で働
き、またこの土地のおか
げで生きてくれました。そ
んな土地を残してくれて
いるのに、それを維持す
ることなく放置しておく
のは、先代に対してとも
申し訳ないことです。そ
れぞれ生き方は自由で
すが、このようなことも
考えておかなければなら
ないと思います。

現在、都会から移り住
み、田舎で暮らしている人
が増えてきています。こ
のようなことをすること
によって、僕が理想と
する農業など、自然と向
きあつて生きていく
仕事をして、どれだけ
自然がたいせつなか
を、理解できるの
ではないかと考えていま
す。

僕の家も引っ越して来た
時は、もつと自然に恵ま
れていたもの、今は工事
でだんだん木を切り倒
したり、土をアスファ
ルトで固めたりして、失
われてきています。し
かし、農業をしていく
上でも、このように自然
を破壊し続けると、地
球上のバランスがくず
れ、異常現象として被
害をもたらすのでは
ないでしょうか。そう
なれば、農業を続ける
のも困難になってき
ます。だから、自然と
農業はかかわりの深い
存在であつて、その関

係をこわしてはなら
ないのです。

そのためには、新しい
農業のやり方だけに
とらわれず、昔から
伝わつてきている農
業のやり方にも目
を向けることがたい
せつだと思いま
す。僕は今の農業
も、昔の農業もか
け合わせた、さら
に新しい農業を切
り開いていきたい
です。そして、祖
父や父のようにな
りたいです。

福岡から伊万里へ引っ越
して来た山本くん。伊
万里は自然がいっぱ
いあつていいですと
話します。生き物が
大好き、自然が大
好きで、自宅では
わとりが2羽、ねこ
3匹、いぬ1匹、か
め4匹、それに金
魚と熱帯魚に囲ま
れて生活している
そうです。お父さん
のたくましい姿を
みて、からだを十分
に生かして働ける
農業をやりたいと
思つたそうです。



やまもと ゆきたか
山本 悠貴くん

大坪小学校6年
(大坪町六仙寺)

小学生高学年

農業への道

中
学
校

魅力ある街、伊万里へ



しまもと ゆり
島本 友里さん

伊万里中学校2年
(立花町南ヶ丘)

家族のからだの具合が悪くなった時に診てあげられるよう、将来は看護婦になりたいと話す友里さん。正月の花火を見ながら、いろいろ考えたそうです。

「友だちは長いつきあいになりますが、家族でいっしょに暮らせる時間は限られています。今の伊万里では、若い人たちは就職なり、進学なりで外に出ていかなければなりません。できるだけ長く、家族といっしょに暮らせるようなまちになるといいな」と話していました。

2

〇〇1年1月1日午後7時、凍えるような寒さの中、子ども、大人、おじいちゃん、おばあちゃんも、その瞬間を今か今かと待ちわびていました。

わたしたちも渋るおばあちゃんを引っ張り出して、少しでもいい場所をとろうなどと考えて、うろうろしていました。待っている間に、周りにいる人たちの事が少しずつ見えてきました。小さい子どもを連れた若いお父さん、お母さん。孫といっしょに来ているおじいちゃん、おばあちゃん。自転車でやって来ている、わたしと同じくらいの男の子たち。それぞれの日常はまったく違う人たちが、きょうは、ひとつの楽しみを共有するためにここに集まっています。

はつきり言って、伊万里ではそういう機会があまり多いとはいえません。それが、たとえ花火であつてもいい。小さい子どもからお年寄りまでが、いっしょに何かをできたり、楽しめたりできるような時間が、もっとたくさんあればいいと思います。

伊万里は今、少しずつではあるけれど人口が減ってきています。その原因のひとつは、若者にとつて魅力に乏しいことがあげられると思います。

わたしだったらまず、たくさん

の店を取り入れたショッピングセンターを作ります。そうすれば、たくさんの方が働くことができると思うし、遠くからもたくさんの方が伊万里にやって来てくれるのではないのでしょうか。

あとは、伊万里の大切な自然を生かした住まい作りです。周りが自然に囲まれているというだけで、とても気持ちやすらぎます。これからの伊万里は、自然との共存を大切にしたい、どの都市にも劣らない未来都市になるといいなと思います。

**家族といっしょにいる
このひとときが
大事だと思った**



ひびけ 輝け
伊万里の未来!



子どもからお年寄りまで
いきいき暮らせるまちをめざして



わたしも中学2年生で、いずれは、中学、高校を卒業し、自分の将来にかかわる進路を決めなければなりません。

その日わたしは、母や妹、おばあちゃんといっしょにいるこのひとときが、とても寒いけど、楽しくてとつても大事なことのように思えました。いつまでもこういう時間が持てたらいいなと思いました。

だけど、今のままの伊万里では、それはとてもむずかしいようです。進学するにしても、仕事をやるにしても、他県へ出て行かなければままたらないのが現実のように思えます。出ていけば、また伊万里にもどって家庭を持つということは、さらにむずかしいと思います。

若い人たちが もっと伊万里にいたい と思えるような 街づくり

若いわたしたちが、もっと伊万里にいたい、もしくははられるような街づくりをしていかなければいけないと思います。

こんなことをいっても、この目の前にあるこの大きな橋が、いつ

たいたわたしたちの暮らしにどれくらい役にたつのか、またどれくらい予算が使われているのかすら、わたしは知りません。

もっと、市民の人たちに理解してもらおう努力をするべきではないでしょうか。そして、もっとたくさんの人たちが伊万里に親しみ、暮らしていけるような街になっていけばいいなと思いました。

魅力ある街への スタートの年になって ほしい

7時を過ぎました。その瞬間はいきなりやってきました。たくさん人の色とりどりの火花が、冷たく凍る真つ暗な夜空に光り輝きました。とりあえずその夜は、初めてみる冬の火花を思いっきり楽しみました。混雑をさけて、少し早めの帰途についたわたしたちは、少しずつ遠くなる火花をながめながら「きれいだっただね。楽しかったね。またあるといいね」などと言いながら帰りました。

新しい世紀がスタートする今年、伊万里も今までにない魅力ある街へのスタートの年になってほしいと思います。そのためにはもちろん、わたしたちのがんばりも大切だと思います。

ひ

ひげ、輝け、伊万里の未来と銘打った、1月1日夜の花火を、わたしは少し離れた場所から見上げた。

冷えた夜空に、つきつきと打ち上げられる花火の美しさに、寒さも忘れて見入っていた。大輪の花のような華やかさと、ドーンと轟く音は、輝く21世紀の幕開けを象徴するかのようで、わくわくするひとときだった。

少子・高齢化社会ということばを、よく耳にするようになった。伊万里のまちを歩いている人も、スーパーで買い物をしている人も、病院の待合室で見かける人も、ほとんど高齢の人ばかり。わたしの周りの兄弟たちも、高齢者が多くなっている。

お年寄りの皆さん 伊万里へ いらっしゃい

そこで「お年寄りの皆さんいらっしゃい」というキャッチフレーズで、とことんお年寄りを大歓迎する。伊万里のまちはお年寄りにやさしいまち、安心して暮らせるまち、伊万里へ行けば何とかなると思ってもらえるまちにしたい。

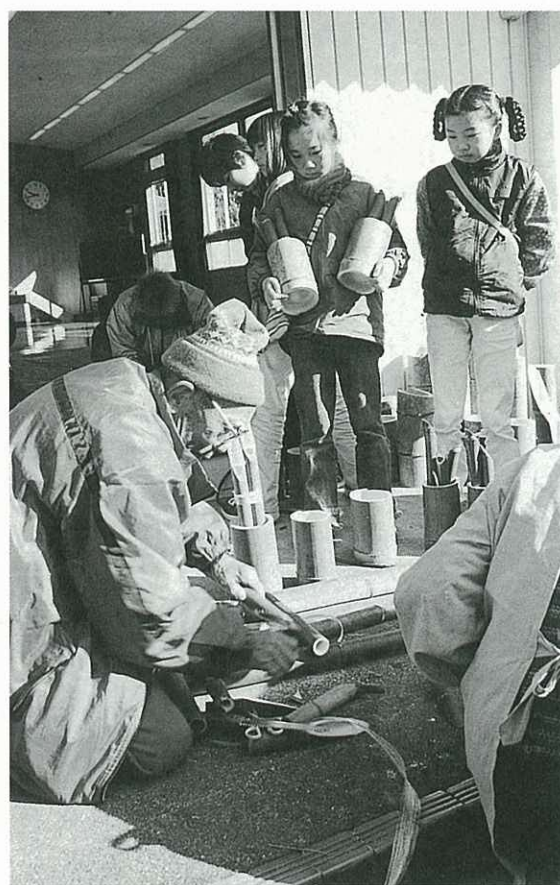
お年寄り対象のゲートボール大

会、カラオケの発表会、民謡や踊りの会などを、大いに開催してもらう。行事を催せば必ず人が動く。まち並みも、お年寄りにやさしく整えたい。店舗のショーウィンドーには、明るくしゃれた色合いの、脱ぎ着のしやすい洋服をならべてほしい。気安く中に入れるような雰囲気醸し出してもらいたい。

加えて、履き心地よく歩きやすく、しかもファッション性を加味した靴もおいてあるといいな。今、お年寄りの服装は総じて色がない。まだまだきれいな色彩で、おしゃれをしてもらいたい。

段差のない歩道、その歩道と車道の境目には、四季折々の花の植えられたプランターをならべる。人の心になごやかな彩りを添えてくれる。街路樹の下には、木造りのベンチを置き、いつでも憩えるようにしたい。人が集まれば、その人に添う家族や知人がいる。介助の必要な人もいるだろう。

介助や介護ができる若い人を育てねばならない。そういう若者を養成する専門の学校ができる。学校に若者がやってくる。彼らが生活するのに、衣・食・住にかかわるすべてが必要になる。若者が増えれば、当然まちに活気がわいてくるだろう。



お年寄りの 経験や知識を たくさんいただきたい

お年寄りの経験や知識を、もつともっと活かす場はないものだろうか。長い年月で培われた知恵を、わたしたちはたくさんいただきたい。

女性セミナーの講座に、わたしも出席している。受講者の大半は、わたしより高齢の方だが、向学心の旺盛さには驚かされる。ひたむきに勉強されている姿に、わたしは教えられることばかり。講師の話熱心にノートし、納得するまで質問される。実習も真摯に取り

組み、目を見張るばかりの立派な作品ができ上がっていた。まじめな日常の生活を、かいま見る思いだった。

わたしの母は今、85歳。いたって元気。朝、目を覚ますと身支度を整え、薄化粧を忘れない。いつもきれいでいたいという心がけを、いくつになっても持っていてもらいたい。母は1か月に2、3回、カラオケ教室へ行き、若い人とともに、流行の歌を歌っている。年に一度のステージでの発表会では、気分は「歌手」で堂々と歌っている。

母には孫が11人、ひ孫が8人いる。何人かは里へ帰って出産したので、当然母は、出産後の手伝い



ひびけ 輝け
伊万里の未来!



21世紀の 伊万里を夢みて

声の広報の録音をする
金岡さん



かねおが きょうこ
金岡 恭子さん
(富士町)

「逆転の発想で書いてみました。高齢化社会はどうしても避けられないものです。お年寄りの知恵を若い人たちに伝えていってほしいですね」と話す金岡さん。『朗読ボランティア伊万里こだま会』の設立当初からのメンバーです。カセットテープに、自分たちの声で広報伊万里をふきこんだ『声の広報』を、視覚障害者の人にお届けするようになって今年で15年になるそうです。「聞く人のことを考えて、いいテープをつくりたい」ときょうも録音作業に取り組んでいます。

をしてくれた。「昔とつた杵柄」という経験は、その時々々に適切なアドバイスをしてくれる。新米ママは、傍らに母が座っていてくれるだけで、どれほど心強く、ありがたく、心安らいだことだろう。

母親が 安心して働ける環境を 整えていくために

母のように、まだまだ元気なお年寄りには、伊万里にはたくさんいらつしやることだろう。その方々に子育て支援をお願いしたい。母親が安心して働ける環境を整えることは、いろいろと考えなければならぬ。子どもの病気の時や、治りがけで、まだ保育園や学校に行くにはちよつとという時、仕事をそうそう休めない母親に代わって、子どもを見守ってくれる人をお年寄りにお願いしたい。また、母親が帰ってくるまでの時間をいっしょに過ごしてくれる人も欲しいな。

昨今の、乳幼児へのせつかんや虐待などの痛ましいニュースを聞くたびに、胸が痛みやりきれない思いをしている。何とかおばあちゃんを知恵袋を活用できぬものと、もどかしく思う。

なぜか お年寄りが遠慮して 生活されている

今、なぜかお年寄りは遠慮して、世の中の隅っこで細々と生活していらつしやるように思える。長生きしていることが悪のような風潮さえ感じられる。「老人力」という流行語もあるように、活力のあるお年寄りは、子どもや孫たちのために役立ちたいと思っていられつしやると思う。

わたしが70代、80代になるころ、伊万里のまちは華やかな彩りのまちになり、若者が生き生きとまちで働き、高齢者がゆつたりと暮らせるまちになっているのを夢みていこう。

花火を見上げた時のような、ときめきを覚える伊万里のまちでありたい。



中
学
校

おだ ありさ
小田 亜杏紗さん

啓成中学校2年
(脇田町上の山)



『伊万里の明るい未来』

「こんな大きな賞とは思いませんでした」と、驚きの表情でインタビューに答えてくれた小田さん。県内の絵のコンクールで、数々の受賞歴を持つなかなかの才能の持ち主です。

この絵は『伊万里の明るい未来』と題し、海、山、焼き物、フルーツ、伊万里牛など、伊万里といえばこれだというものを、すべて一枚の絵の中に表現しました。

伊万里が誇る特産品などを生かしつつ、ほかのまちに負けない、明るく活気あるまちになってほしいという願いが、この絵に込められているそうです。

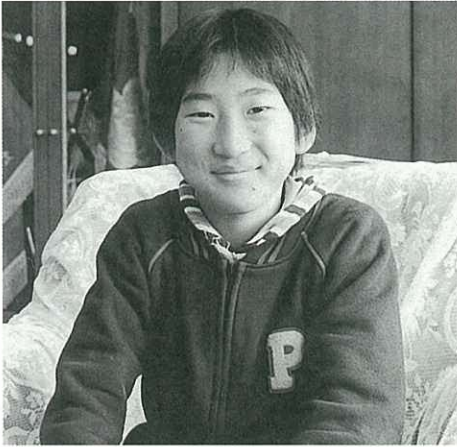
「今の伊万里には、子どもたちが遊べるような施設や、希望する高校、大学などの教育施設が不足していると思います。それに交通の便が悪いですね。子どもやお年寄りには、道路がよくなるより、やはり鉄道の便利がよくなってほしいですね。これから少子・高齢化が進んでいきますが、21世紀の伊万里は、子どもからお年寄りまでが、明るく暮らせるようなまちになってほしいと思います。伊万里の明るい未来に期待しています」と話していました。



ひびけ 輝け
伊万里の未来!



小学生高学年

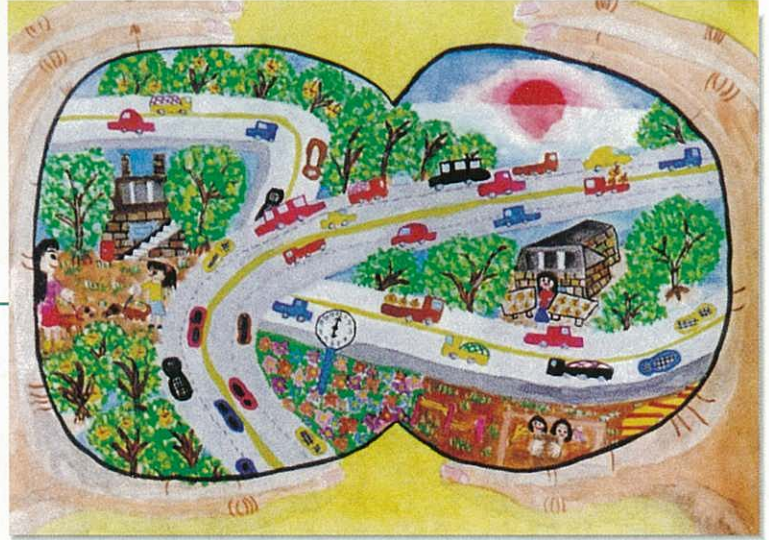


まつおりの
松尾 理乃さん

牧島小学校5年
(瀬戸町漁港)

伊万里が好きです。都会には自然が少ないし、空気も汚いからあまり住みたくないと話す理乃さん。望遠鏡を通して見た伊万里の未来予想図は、自然が豊富で、ソーラーシステムの家々に、道路には電気自動車が走っています。「自然を大事にしてほしい。人と同じように、野の草花、山の木々も生きているから」と話していました。

『望遠鏡で見る未来予想図』



小学生低学年

『海の中のぼくのお家』 うち



なかしま ひろや
中島 啓也くん

大坪小学校1年
(大坪町下古賀)

将来は野球選手になって、福岡ドームでプレーしてみたいと話す啓也くん。この絵は『海の中のぼくのお家』だそうです。まん中のイカの形をしたのが啓也くんのお家です。ロケットがついているので、自由に海の中を泳いでいけるようになっています。「海が大好き。でも泳ぎがちょっと苦手なので、今スイミングクラブで練習しています」と明るく話していました。



インターネットを はじめませんか パソコン教室の受講生を募集!!

私たちの暮らしは、IT（情報技術）の発展により急激に変化しています。

こうした時代の流れのなかで、豊かな生活をおくるためには、私たちみんながITを利用するための基礎技能を身につけておく必要があります。

現在国では、全国民がインターネットを利用するなど、ITを日々の暮らしに生かすことができるように、国民運動が展開されています。

伊万里市でも、これまでパソコンを使ったことがない初心者を対象に、ITに関する基礎的な技能が習得できる『初心者パソコン教室』を開催します。

より多くの市民の受講をお待ちしています。パソコン初心者の皆さん、ぜひチャレンジしてください。

ITって何？

ITとは、日常的に使われるようになったパソコンや携帯電話で行うことのできるインターネットなど、新しい情報技術のことです。

なんでITを学習するの？

これからますますITを利用したサービスが、暮らしのいろいろなところに使われるようになります。

ITを学習し理解すれば、暮らしに必要ないろいろな情報の入手がすばやくできたり、手続きを家にながら簡単にできたりするなど、今よりも格段に便利になります。

皆さんも、ぜひこの機会にパソコン教室に参加してITをじかに学んでみませんか。

ITでいったい何ができるの？

市役所からのお知らせなど、暮らしに必要な情報の入手や、旅行に行くときの調べ、ホテルの予約など、インターネットを使うことで簡単

にできるようになります。

だれにでもできるのかな？

日常よく使う簡単な文書の作成や、インターネットへの接続は、それほど難しくはありません。特にインターネットは、パソコンのキーボードをいちいち打つことなく、マウスという道具を使ってボタンを押すだけでいろいろな情報を見ることが出来ます。

どう？

教えてくれるの？

市は、市民の皆さんがパソコンやインターネットなどに興味を持ち、より親しめるように、5月から『初心者パソコン教室』を開催します。

会場は、市役所と市民センターです。

その教室はいつからあるの？

このパソコン教室は、3期に分けて開催する予定です。

▼第1期（5月～7月）

▼第2期（8月～11月）

▼第3期（実施期間未定）

※今回の募集は、第1期分です。第2期分の募集については、「広報伊万里」7月号で行います

受講料はどのくらい

かかるの？

この教室は、国・県の助成を受けて、市が実施するものです。したがって受講料は、無料です。

だれが

教えてくれるの？

会場によって異なりますが、主にパソコンの専門講師やITの専門家などが講師と

して指導します。

また、講習の途中でわからなくなったら、気軽に質問できるように、講師のほかに指導補助員も配置します。

どんなことを

教えてくれるの？

はじめてパソコンを使う人でもできるように、電源の入れ方やマウスの使い方など、パソコンの基本操作から指導します。

また、日常生活のなかでよく使う文書の作成、インターネットの使い方、電子メールの送信と受信など、パソコン操作の基礎を学べます。です

から、パソコンを触ったことのない人でも、安心して参加できます。

何か準備するものがありますか？

特別に準備するものはありません。気軽に申し込んでください。

20歳以上の市民であれば、だれでも申し込むことができます。ただし、申し込みの受け付けは、先着順になりますのでご注意ください。

だれでも

受講できるの？

この機会に思いきって チャレンジしてください



市民情報課 課長補佐
深浦 弘信

最近、新聞紙上やテレビなどで『IT』とか『IT革命』とかいう言葉をよく目にします。しかし、パソコンを使ったことのない人のなかには、遠い世界の話だと思っている人もいらっしゃるでしょう。

携帯電話やインターネットの急速な普及など、私たちを取り巻く環境は確実に変化し、高度な情報化社会へと着実に向かっています。

『初心者パソコン教室』は、パソコン初心者の皆さんに、パソコンの便利さや、インターネットの楽しさを知っていただくために開催するものです。

市民の皆さん、この機会に思いきってチャレンジしてみませんか。多数のご応募をお待ちしています。

日程など、詳しくは

第1期講習カレンダーで！

▼期間 (全20回の講習会)

5月7日～7月27日

▼時間

①2日間コース

(午前9時～午後4時)

②4日間コース

(午前9時～正午)

③4日間コース

(午後1時半～午後4時半)

④5日間コース

(午後6時半～9時)

▼会場

市役所1階第8会議室、市民センター

▼講習内容

パソコンの基本操作、文書の作成、インターネット・電子メールの利用など

▼受講資格

20歳以上の市民ならどなたでも

▼受講料

無料

申し込みの受付

広報伊万里とは別に『初心者パソコン教室』講習カレンダーを全戸配付しています。このなかにある申込

書に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

申し込みの受け付けは、次のとおりです。

▼受付日時

4月21日(土)、22日(日)

午前9時～午後4時

▼受付会場

市役所1階市民ロビー

▼注意点

①定員になり次第締め切り

※定員に満たなかったコースについては、4月23日(月)以降、市教育委員会生涯学習課で随時受け付けます。受付状況については、市内ケーブルテレビ(10チャンネル)で放送します

②電話での申し込みの受け付けはしません

③一人一講座に限り、受講できません

▼問合せ

市民情報課

(☎)2111内線407

生涯学習課

(☎)2111内線453

伊万里歴史探訪ツアー

20世紀の伊万里を旅しました

伊万里歴史探訪ツアーが、

3月4日、市民24人が参加して開かれました。

このツアーは、市内の史跡を巡り、ふるさと伊万里を再発見しようと毎年開催されて

います。

これまででは、江戸時代以前の遺跡を中心に回っていましたが、今回のテーマは「20世紀の伊万里」。激動の20世紀。その中で伊万里はどのような



歴史をたどってきたのか、実際に史跡を巡りながら学びました。この日探訪したのは、近代産業や戦争などと関係が深い名所・旧跡など十数か所。かつて伊万里県庁が置かれていた『円通寺』や、森永伊万里練乳工場跡の『森永公園』、『立川炭鉱跡』などでは、バスを降りて現地を探索しました。

参加した、渡辺博さんと留美さんご夫妻は「歴史に興味があつて参加してみました。私たちは久留米出身ですが、今までは知らなかった伊万里の新しい発見がありました。特に歴史民俗資料館での説明は興味深かったですね」と話していました。



感想を語ってくれた渡辺博さん、留美さん夫妻（東山代町浦川内）



『声の広報』を

お届けしています

市は、広報紙の内容を目の不自由な人にも知っていただくため、音訳テープ（声の広報）を作成しています。

このテープは、「朗読ボランティア伊万里こだま会」の皆さんが、広報伊万里の内容をわかりやすく音訳したものです。童謡などの音楽も吹き込まれた、視覚に障害がある人にも聞きやすいものとなっています。

ご家族や、あなたの周りに目の不自由な人がいらっしゃれば、このテープのことをぜひお伝えください。

また、このほかに「点字の広報」もお届けしています。

▼郵送料 無料

▼申込・問合せ

市秘書課広報係

☎2111内線207

市社会福祉協議会

☎223931



～市社会教育研究大会～

地域が育てば 子どもが育つ



講演する九野坂 明彦さん

市社会教育研究大会が、2月18日、市民センターで開かれました。

21世紀を担う子どもたちが、健全に成長できる環境づくりを考えるために開かれたもので、PTAや子ども会、婦人会などから、約150人が参加しました。

大会ではまず、福岡県嘉穂郡庄内町社会教育主事の九野坂明彦さんが、17年間続く、庄内町の生活体験学校について基調講演をしました。

九野坂さんは「田舎ほどテレビを見たり、ゲームをしたりする子が多く、家に引きこもりがちです。このころは、核家族が多くなって『あたり前のこと』を教えてくれる人がいなくなっています。親自身も生活体験が不足していますので、地域のみならず子どもたちのことを考えてください」と話しました。

続いて、まちおこしグループや地区の子ども会などが行った、通学合宿の事例が発表



されました。

このなかで、南波多町の大川原子ども会の樋口久俊さんは、区の自治公民館「一心館」で行った、小・中学生を対象とした通学合宿を発表。

「入浴をどうするか悩んだんですが、地区の皆さん10数軒の協力でお風呂を使わせてもらいました。地域の協力がここまで得られるとは思いませんでした。今では子どもたちが一心館に集まって遊んでいます。これは大きな成果だと思います」と話し、地域ぐるみでの取り組みを発表しました。

郷土の文化財

伊万里市の歴史（補足）

戦国時代の 上松浦

伊万里市の中世

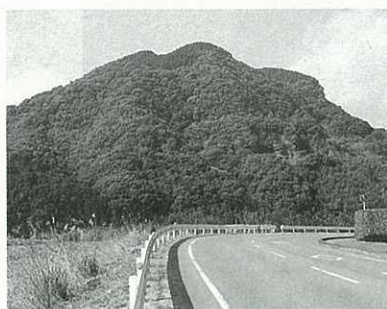
波多興の子、盛は、嫡男をもたずに死にました。

盛の後室は、重臣らの意見を無視して島原の有馬義貞の二男、藤童丸を跡目としました。

また、重臣で波多一族の日高資と鶴田直が後室の陰謀で変死したと疑われたので、重臣の日高喜と直の養子、鶴田勝は謀叛をおこし、後室と藤童丸を岸岳城から追いました。

しかし、一族の有浦氏や値賀氏は、佐賀の戦国大名、龍造寺隆信の力をかりて、永禄12年（1569年）、喜と勝を追い、再び藤童丸を当主にしました。この藤童丸が波多氏の最後の当主、後の三河守親です。

喜は吉岐に逃れ、平戸松浦氏の家臣となりました。それは吉岐が現在、長崎県



大川町宿側から見た日在城跡

に属するきつかけになりました。

勝は、居城の日在城（大川町）をすて、武雄の後藤氏のもとへ逃れました。しかし勝の兄の鶴田前は獅子か城（相知町）で藤童丸をたすけました。

この鶴田氏は、日在城の大河野氏の所領をうけついで一族です。直のときに居城を日在城にうつし、上松浦では波多氏につぐ領主になっていたのです。

みんなの 広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。
(☎ 23-2111・内線207)



👉もしものために、消防訓練 (3月4日)

伊万里市消防本部と市消防団との合同消防訓練が、社会保険浦之崎病院で行われました。この日は、病院の自衛消防隊員18人も参加。病院の2階病棟から出火し、逃げ遅れた人がいると想定した訓練を行いました。

消防団員らのきびきびとした消火活動に、集まった地区の人たちは「頼もしいですね。万が一のことがあっても、これで大丈夫です」と話していました。



👉有田川で、大きく育てね! (2月27日)

二里小学校の4、5年生約110人が、学校前の有田川にコイを放流しました。この日放流したのは、福岡県筑紫野市から運ばれてきた、2年ものコイ約700匹。なかには50センチ級の大型もいて、子どもたちは「ワ、大きい」と歓声をあげながら放流していました。

👉みんなの力作が勢ぞろい (2月23日~27日)

『第18回伊万里市ふれあい(障害者)文化祭』が、伊万里玉屋で開かれました。展示されたのは、伊万里養護学校や福祉作業所などに通う人たちの作品約400点。丹精込めて作られた絵画や書、手芸品などに訪れた人たちは熱心に見入っていました。



👉みんなで進める歯の健康 (2月24日)

丈夫な歯を守るため『いきいき健康(健口)づくり講演会』が、市民センターで行われました。この日講演したのは、県健康増進課の岩瀬達雄 副課長。フッ素洗口やフッ素塗布の効果を説明し、丈夫な歯がいかに健康づくりに必要かを強調していました。





市民図書館のめばえの日を祝う (2月25日)

市民図書館の起工の日を祝う『図書館めばえの日ぜんざい会』が開かれました。これは、図書館フレンズいまりが毎年行っているもので、今年で8回目。この日はたくさんの親子連れが訪れ、用意された約300食分のぜんざいはあっという間になくなりました。

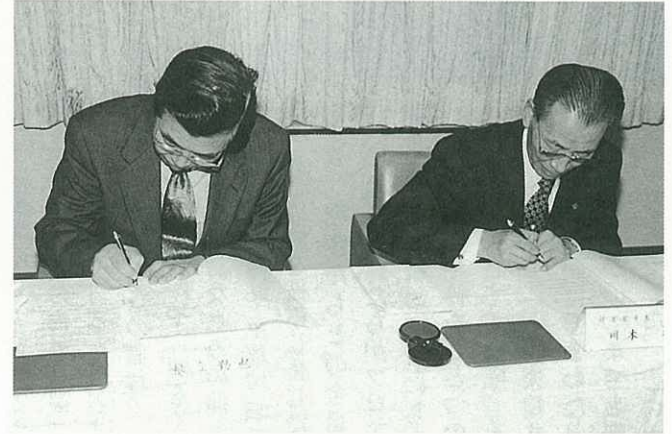


空手を習って、強い子にな～れ！

医王保育園では、園児たちが空手に取り組んでいます。これは体の鍛錬はもちろんのこと、空手着を自分たちで着たり、たたんだりという『しつけ』も兼ねて行われているものです。子どもたちは「ちょっときついけど、とても楽しいよ」と話していました。

ゴミの不法投棄は許しません！ (2月27日)

市と、市内の郵便局でつくる伊万里市郵政まちづくり協議会は『ゴミの不法投棄等の情報提供に関する覚書』に調印しました。これは、郵便外務職員が市内の道路・河川などでゴミの不法投棄を発見した場合には、市にその情報を提供してもらうこととしたものです。



貸し出し数が300万点を突破！ (2月25日)

市民図書館の貸し出し点数が、オープン以来5年7か月で通算300万点を突破しました。記念すべき300万点目の借り主は川村正さん(武雄市)。「園芸関係の本をよく借ります。いろいろな本がたくさんあって、利用しやすいですね」と話していました。



春の陽気に誘われて 焼き肉オリエンテーリング



スタミナ焼き肉オリエンテーリングが、3月17日、約300人が参加して行われました。

コースは、国見台陸上競技場を出発し、腰岳の千畳敷をゴールとするもの。参加者たちは、設けられた7つのチェックポイントで、クイズなどに挑戦。材料を獲得しながらゴールの千畳敷に到着すると、そこに用意されたバーベキューセットで焼き肉を楽しみました。

また、焼き肉のあとは参加者全員で、大阪行きの日復航空チケットをかけた〇×クイズに挑戦。みごと航空チケットを手に入れた原口尚洋くん(松浦町上原)は「今日は、歩くのがきつかったけど、とても楽しかったです。大阪に行くのが待ち遠しいです」と話していました。



合唱団員といっしょに歌う子どもたち

立花小学校で東京混成合唱団公演

美しいハーモニーが会場を包む

『舞台芸術ふれあい教室』公演が、2月23日、立花小学校で行われました。

この公演は、優れた舞台芸術にふれる機会を提供し、芸術を愛し、豊かな感性を持つ子どもに育つようにと企画されたものです。



今回出演したのは、東京混成合唱団の皆さん33人。この合唱団は、アメリカやヨーロッパなどの海外公演でも評価の高い、日本を代表する合唱団です。この日は、『となり』のトトロ』や『翼をください』など、おなじみの曲から、世界の名曲や童謡、唱歌まで、約10曲を披露しました。

児童たちとの全員合唱では、団員たちがフロアーに降りて児童の周りにちらばり、体育館全体をひとつのステージに見立てて合唱。その迫力とハーモニーの美しさが会場いっぱいに響きわたり、感動の拍手がいつまでも鳴りやみませんでした。

黒川幼稚園が

地区学校賞を受賞!!



第60回全国教育美術展で、黒川幼稚園が地区学校賞を受賞しました。

この美術展は、大正11年(1922年)に始まって以来、我が国では最も伝統のある『子ども』の絵の『展覧会』と言われる美術展です。今回受賞し

た地区学校賞は、各都道府県と指定都市を単位に審査され、出品内容の優れた学校や幼稚園、保育所に贈られたものです。

黒川幼稚園は、17点の作品を応募。このなかから特選4点、入選7点、佳作1点の合計12点が入賞するという好成績をおさめました。

今回の受賞について井元須万子教諭は「子どもたちは、絵を描くのが大好きです。私たちの幼稚園は日ごろから、県の学童美術展や、世界児童画展などに積極的に出品しています。今回の受賞は、園で飼っているニワトリや、園の行事である芋掘りなど、日ごろの体験のなかで得た感動をいきいきと描いたことが評価されたんじゃないでしょうか」と受賞の喜びを話していました。

四季の詩

小さき胸大きく張りて入学児

山代町補久

萩原 豊彦

煌めくは池の水面にさす春の

日差し踊る光りの宴

大坪町白野

織田 キヌエ



わたくしの学校

中南波多 中学校

沿革

所在地 伊万里市南波多町

井手野2900番地

創立 昭和22年

(1947年)

児童数 117人



紹介してくれた、松尾朋美さん(写真左)、井手千尋さん(写真中)、池田萌美さん(写真右)

学校の特徴

『みつめ、みがぎ、生かす』を生活の指針にし、部活動をはじめ、あいさつ運動、ボランティア活動に積極的に取り組んでいます。

昭和22年、村立南波多中学校として開校。昭和29年、町村合併により伊万里市立南波多中学校と改称し、昭和47年には鉄筋二階建の現校舎が建築され現在に至っています。



全校生徒が参加するクリーン作戦

私たちの学校は、ボランティア活動に盛んに取り組んでいます。

特に夏に行われる『おりづる運動』は40年以上も続いています。これは、ドライバーの方に全校生徒で折ったおりづるを手渡して、安全運転を呼びかけるものです。昨年もたくさんの方のドライバーに呼びかけることができました。

このほかにも24時間チャリティー募金、クリーン作戦などを毎年行っています。このクリーン作戦は全校で学校周辺のゴミ拾いをして、町内をより美しく過ごしやすい町にするというものです。

このように、いろいろなことに学校全体で積極的に取り組んでいます。

ほほえ美さん

まつおみなこ
松尾美奈子さん(19歳)

★松浦町下平

★おひつじ座・B型



美奈子さんは、JA大川町に勤めて1年。Aコープでレジや経理の仕事をしています。仕事から、お休みが平日になつてしまい、友人となかなか遊ぶ機会がないのが現在の悩み。だから、こんどゆっくり、仲のいい友人たちと旅行を楽しみたいそうです。なかでも東京デイズニールランドに行つて、ミッキーマウスに会つてみたいとか。

「仕事では、まだまだ覚えらることはかりで毎日がたいへんです。でもお客さまと接するのが楽しいのがんばっています」と笑顔で話してくれました。

わが家の

アルバム

よしだ さき
吉田 早希ちゃん (1歳3か月)

★哲也・恵美さんの長女

★黒川町名村団地



いつまでも明るく元気で、素直な性格の女の子に育つて下さい。

わたしは、お外で遊ぶのが大好き。ママといっしょに、いつも近くの公園へお散歩に行くんだよ。すべり台で遊ぶのが一番好き。一もう帰りましよう」つて言われても、もつと遊びたいから泣いてただこねるんだ。また連れてつてね、ママ。

スポーツ

4月の町民スポーツ

- 1日(日)
 - 東山代町子ども会連合会
春のグラウンドゴルフ大会
9時開会 東山代小学校
- 22日(日)
 - 黒川町民体育祭
8時20分開会 黒川小学校
- 5月5日(土)
 - 黒川町子ども相撲大会
8時半開会 黒川小学校
- 5月6日(日)
 - 東山代町民スローピッチ
ソフトボール大会
8時半開会 東山代運動広場

4月の市民スポーツ

- 8日(日)
 - プロ野球ウエスタンリーグ
伊万里大会
11時開門 国見台野球場
- 15日(日)
 - 市職域・クラブ卓球大会
9時開会 国見台体育館
- 22日(日)
 - 市内ダブルスバドミントン大会
9時開会 国見台体育館
 - 伊西地区中学校対抗
ソフトテニス大会
9時開会 国見台庭球場
- 28日(土)、29日(日)
 - 市長旗争奪中学生野球大会
9時開会 国見台野球場
- 29日(日)
 - 西部高体連卓球大会
9時開会 国見台体育館
- 30日(月)
 - 5月3日(木)～6日(日)
 - 市長旗争奪伊万里地区
高等学校野球春季大会
9時開会 国見台野球場
- 5月3日(木)
 - 国見台陸上競技選手権大会
9時開会 国見台陸上競技場
- 6日(日)
 - 県会長杯スローピッチ
ソフトボール大会
9時開会 国見台球技場

郡市対抗県内一周駅伝大会

伊万里勢

総合4位の激走!!



15区區長本瑞樹選手が16区松本純一選手へ
夕又キをつなぐ。(大坪公民館前)

県内15市郡の代表ランナーが肥前路を駆け抜ける「春の県体第41回郡市対抗県内一周駅伝大会」が、2月16日から18日まで3日間にわたり開かれました。市街地や

平野部、高低差の激しい山間部など、変化に富んだ全32区間297・1キロメートルをタスキでつなぎました。
第1日は、基山町役場前をスタートし、嬉野町に入る11区間で健脚を競いました。激戦の「花の1区」では、小川 恒選手(二里町)が出走。トップに52秒差の区間4位とまずまずのスタートを切りました。続く2区松本純一選手(波多津町)、3区川原敏裕選手(二里町)、5区永益邦弘選手(二里町)、後半8区の佐々木隆司選手(黒川町)がともに区間3位の力走を見せ、前を行く神埼郡に1分41秒差の日間4位と、1日目をまずまずの成績で終えました。

第2日は、嬉野町から唐津市までの9区間109・3キロ。伊万里市チームは、この日最終区の20区で松本慎市選手(二里町)が、区間賞を奪う力走を見せましたが、上位チームとのタイム差は思うように縮まらず苦戦。日間6位でフィニッシュし、2日間の累計では5位で最終日を迎えました。

最終日の第3日は、唐津市役所前をスタートし、佐賀新聞社前(佐賀市)にゴールする12区間、79・2キロ。出だしこそ遅れたものの、24区で井手貴教選手(二里町)が区間2位、続く25区の久保田崇選手(二里町)が区間賞を奪う健闘。女子区間に望みを託しました。女子区間に入るのと、26区牧瀬わか奈選手(東山代町)、27区大和桃子選手(二里町)、29区牧瀬翼選手(二里町)、30区城島ひとみ選手(二里町)が、区間2位と期待に応え力走。女子のがんばりに引つ張られるかのように最終32区では、永益邦弘選手(二里町)が区間賞を奪い、日間1位で3日間にわたる競技を終えました。

3日間の累計で競う総合順位は、厚い選手層を誇る佐賀市が、11連覇を達成。伊万里市チームは、昨年同様の総合4位に終わるものの、3日目に日間賞を奪い、次回に期待させる健闘を見せました。

◆総合順位

- ①佐賀市②杵島郡③神埼郡

◆区間賞

- ④伊万里市

◆新人賞

- 永益邦弘選手(二里町)

◆区間賞

- ▽20区松本慎市(二里町)
- ▽25区久保田崇(二里町)
- ▽32区永益邦弘(二里町)

市さわやかスポーツレクリエーション祭

気の合う仲間と

気持ちいい汗!!

第8回市さわやかスポーツレクリエーション祭が、3月20日、国見台運動公園と啓成中学校で開催されました。

この日は、好天に恵まれ、グラウンドゴルフやミニサッカーなど、6種目のニュースポーツに、子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層から約550人が参加。出場した選手たちは、気の合う仲間たち

といっしょに競技を楽しんでいました。各競技の上位の成績は、次のとおりです。

《競技の結果》

◆グラウンドゴルフ

- ▽黄パート①古賀正人(西川会) ②多久島邦夫(長浜)
- ③松尾正義(多々良A) ▽緑パート①石丸巽(長浜) ②小林守(円造寺) ③久保田正幸(サンエスクラブ)
- ▽桃パート①副島知恵子(多々良C) ②松尾房江(大川GG愛好会) ③田中敏子(大川GG愛好会)

◆ペタンク

- ▽Aパート①小石原A(大川内町) ②川東老人クラブA(二里町) ▽Bパート①小石原B(大川内町) ②川東老人クラブB(二里町) ▽Cパート①小石原C(大川内町) ②川東老人クラブC(二里町)

◆ソフトバレーボール

◆ミニサッカー

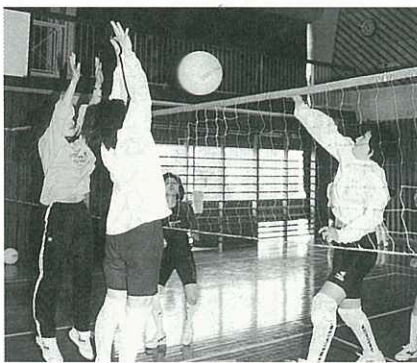
- ▽Aパート①川島チーム ②国見▽Bパート①南波多 ②高田チーム

◆インディアカ

- ▽Aパート①大川町A ②松浦マーズD ▽Bパート①東山代 ②黒川ブルーウエーブ ▽Cパート①松浦マーズB ②黒川マリインズ ▽Dパート①松浦マーズA ②グッチーズ

◆ターゲットバードゴルフ

- ①下平秀丸(大川内町) ②山口利光(伊万里町) ③松永彰則(立花町) ④中島八重廣(山代町) ⑤金子ハツ子(牧島町) ⑥川崎弘(松浦町)



プロ野球ウエスタンリーグ伊万里大会

今年も熱い感動を!

福岡ダイエーホークス 対 サーパス神戸



内外野芝生席 中学生以下無料!

◆チケット販売所 市教育委員会、国見台管理事務所、市民センターなど

◆問合せ先 市体育保健課 (☎232111内線465)

第7回市長杯争奪

グラウンド

ゴルフ大会

市長杯争奪グラウンドゴルフ大会が、2月11日、国見台陸上競技場と国見台球技場を会場に、46チーム、310人が参加して開かれました。上位の結果は、次のとおりです。

▽個人の部

- 準優勝 大坪赤門A 3位 サンエA 長浜A

▽Aパート

- ①岩永亀雄(大坪赤門A)、②野口勝美(大川内体協A)、③前川森雄(大川内体協C)

▽Bパート

- ①多久島邦夫(長浜C)、②野林寅一(長浜A)、③力武稔(多々良A)

▽団体の部

優勝 長浜C

くらしのチャンネル

お知らせ

小規模土地改良事業の申請受付

小規模の土地改良事業を、共同で施工する場合には補助金を支給します。

● 対象事業

事業の受益農地が1畝以上で、受益戸数が5戸以上ある農道、水路、ため池などの新設、舗装、改良、しゅんせつ事業

● 補助率 50%以内

● 補助金額の上限 50万円

● 申請方法

申請書に施工地区の現況写真を添えて、区長名で提出してください

● 申請期限 5月31日(木)

※昨年申請して、未認可になった地区については、再度申請が必要です。また、申込期限は厳守してください

● 問合せ 市農村整備課

(☎23) 2111内線380)

夏のレジャー予約の受け付けを開始

夏の憩いの場「大川内山キヤンプ場」と「イマリンビーチ」の施設利用予約の受け付けを開始します。

● 利用期間

▽イマリンビーチ(休憩所) 7月1日～8月31日

▽大川内山キヤンプ場(テントプレース、研修室、休憩所など) 7月15日～9月5日

● 受付開始 4月2日(月)～

● 申込・問合せ

市商工観光課

(☎23) 2111内線385)

早朝ソフトボール登録受け付け

● 受付日

4月18日(水)、19日(木)

● 受付時間 午後6時～8時

● 受付会場 市ソフトボール協会事務局(国見台)

● 登録料 6000円

※登録用紙は、各町公民館と

事務局に用意しています

● 問合せ

市ソフトボール協会事務局の松本(☎28) 0009)

ぼしゅつ

初級中国語教室を開始します

大連市からの公務研修生が講師を務める「初級中国語教室」を開催します。

中国のことばや文化に興味があるあなた、中国語教室でいろいろなことを学んでみませんか。

● 対象者 高校生以上で市内に居住する人、および市内に勤めている人

● 開講期間

▽昼コース(毎週水曜日) 5月16日～10月31日

午後2時半～4時

▽夜コース(毎週火曜日) 5月15日～10月23日

午後6時半～8時

● 会場 市民センター

● 受講料 月額1500円(テキスト代は別途)

● 申込期限 4月25日(水)

● 申込・問合せ

市国際交流室

(☎23) 2111内線496)

農家の嫁・婿対策に あなたの力が必要です!!

結婚専門相談員

を募集します

農業後継者(出会いの会加入者を対象)の結婚への橋渡しをするブライダル・コンサルタント(結婚専門相談員)を募集します。

▼ 応募資格 市内在住者

▼ 活動日

5月から週3日従事(1日7時間程度で、時間帯については相談可)

※休日や夜間になる場合もあります

▼ 業務内容

- ① 出会いの場の企画、相談
- ② 結婚適齢者情報などの収集、提供など

▼ 募集人員 1人

▼ 募集期間 4月2日(月)～20日(金)

▼ 報酬

月額7000円程度

▼ 応募方法 市販の履歴書

に必要事項を記入のうえ、お申し込みください

▼ 選考方法

面接により選考します

▼ 申込・問合せ

市農林水産課

(☎23) 2111内線378)

出会いの会

加入の受付

農家の青年に対し、さまざまな出会いや交流の場を提供し、カップル誕生のお手伝いをする「出会いの会」への加入を随時受け付けています。

▼ 加入対象者 農業後継者、

また農業後継者との結婚を考える市内在住の独身男女(女性については市外在住でも可)

▼ 加入方法

市農林水産課、市内農協においている所定の加入申込書を提出してください

▼ 申込・問合せ

市農林水産課

(☎23) 2111内線378)



故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらつしやいます。また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。

このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りをご紹介します。

『故郷の山河は確実に色を変えた』

東京都文京区

版画家

山口徹三さん



作品を製作中の山口さん

世紀もそろそろ終わるといふ秋晴れの一日。ライオンズクラブの貸自転車に跨がって、何十年ぶりかで私は生まれ故郷のそこかしこを探索してまわりました。すっぴり変わった町の様子。すこしふつくとらとした腰岳の容姿。半日の訪ね歩きに倦んだとき、駅前前の観光案内所で、図書館が新しくなったと聞いたのを思い出しました。

子供のころは、市の図書館によく通いました。古い造りの建物の中は、薄暗い印象でしたが、学校の図書館より大人びた感じがして、

戸惑いながら本を借りること自体が密かな楽しみでした。そんなことを思い出しながら訪ねた新図書館は、昔とはすっかり様変わり。中へ入って迷路を歩く気分が随分まで見物しました。頭の中にあつた図書館というイメージが、抜かれるように変化していきましました。館内のどこにいても『利用者のために』というメッセージが聞こえてくるようです。

その利用者たちからは、皆とても充足した雰囲気を感じられます。各自が自分の関心に没頭していきす。眺めやっているうちに『品のいい人達だな』という言葉が自ずと湧いてきました。

充実した図書館の必要性は理解されています。自治体が本腰で取り組んでいるとはあまり耳にしません。設立概要に目を通して、この事業が形をなすための市民の努

力と自治体の決断を知り、私は少なからず幸福な気分になりました。この伊万里で最も困難で、最も未来先取な事業が成立しているなんて、といった気持ちでした。

十五で故郷を離れて以来、愛着を感じてはいるものの、伊万里市民という感覚は私にはほとんどありませんでした。しかし、この図書館に巡り合ったおかげですこし変わったようです。『私の故郷』だったものに『このような市民を育てている町が私の故郷』という意識が芽生えたからです。

黒澤明記念館には足を運びませんでした。文化を軸にしたこうした事業の相乗効果から、伊万里は大いに変貌していくと思います。相変わらず遠くに住んではいても、あの日以来、私の中で故郷の山河は確実に色を変えました。



山口さんの作品『主』

型づくりの人形です。唐子が普段着姿で太鼓の上に坐り、肩からさげた瓢箪につけられた飾り紐を両手にもっています。トルコブルー（明るい青）・青・明るい赤・黒で絵付けされていて、染付や金彩は用いられていません。このような作品は柿右衛門様式とされています。中国的な主題のなかであって、背面には和風の藤の一枝がさりげなく描かれています。

お知らせ

4月からは住民基本台帳人口を掲載します

これまで、伊万里市が公表している人口は、住民基本台帳人口と、国勢調査に基づく推計人口の2種類がありましたが、4月から住民基本台帳人口を公表することにしました。なお、国勢調査に基づく推計人口が必要な人は市民情報課地域情報・統計係（☎2111内線408）までお問い合わせください。

住民基本台帳人口…住民登録がある人の数
国勢調査に基づく推計人口…国勢調査人口を基に、住民異動届があった人数を加減した数

人のうごき

平成13年3月1日現在

- 人口 60,107人
- 男 28,628人
- 女 31,479人
- 世帯 20,112世帯

広報伊万里 2001-4

- 発行日/平成13年4月1日
- 発行編集/伊万里市役所秘書課広報係 (0955)23-2111
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花台1-1-1
- 伊万里市のホームページ <http://www.saganet.ne.jp/imari/>
- 印刷/株式会社三光

100% この用紙は、再生紙を使用しています。(古紙配合率100%)